

介護職員等処遇改善加算の取得に係る職場環境等要件について

職場環境要件項目	当法人の取組
入職促進に向けた取組	
法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	法人の経営理念を事業所内に掲示。ケア方針は運営規定、契約関連書類に記載。新任研修を行い、理念、ケアに関して理解を深め、スキルアップを行う。
他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	ホームページ上や採用面接の際に幅広い働き方の提示をし、多職種や主婦層、中高年齢者層の採用実績も多数あり。
職場体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職場魅力度向上の取り組み実施	小中学校からの職場体験を受け入れており、地域行事に法人として参加している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	
働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、喀痰吸引、認知症ケア、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	無資格からの初任者、実務者研修の支援、認知症に関する研修の支援等を実施。より専門性の高い技術を取得できるよう機会と費用の提供を行っている。
上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保	上位者による定期的な面談の機会の確保、担当者によるキャリア面談を行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	
子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	育児や介護についての標準的な休業制度は完備しており、法人内に企業主導型保育所を設置している。
職員の事情等の状況に応じた勤務シフト、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	契約職員から正規職員へと転換させる制度を整備している。また、職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの作成を行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	
福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施	職員の身体の負担軽減や腰痛対策の研修等を実施している。また、管理者向けの雇用管理改善の研修を受講。
事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故発生時のマニュアルを作成し、どの職員でも対応できるように整備している。また、非常時の指揮連絡系統の周知・確認をしている。
生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組	
厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築を行っている	生産性向上委員会（プロジェクトチーム）を立ち上げ、業務改善活動を行い、その記録をとっている。
5S活動（業務管理の手法の一つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている	5S評価シートを活用し、委員会又はプロジェクトチームが主体となって5S活動を行っている。
介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入。	介護ソフトを導入し、記録・報告はIT化を行っている。
介護ロボット（見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護業務支援等）又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器（ビジネスチャット含む）の導入	見守り支援の介護ロボットを導入
やりがい・働きがいの醸成	
ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善。	朝礼、終礼時や定例会議（ユニット会議、デイ会議等）を通じ、職場内でのコミュニケーションをとっている。
地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	職場体験や交流会を通じ、地域との交流に取り組んでいる。
利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的の学ぶ機会の提供	朝礼、終礼時に経営理念・経営方針・サービス提供方針を唱和し、定例の会議でも読み合わせを実施している。
ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	連絡ノート等の記録、いただいたお手紙のコピー等を通して共有している。